

学校運営協議会 議事録

校名	府立鳳高等学校
校長名	片山 造

開催日時	令和7年11月27日(木) 13:00～14:00
開催場所	大阪府立鳳高等学校 中館1階 校長室
出席者(委員)	山東会長、中村委員、納家委員、上田委員、岡田委員
出席者(学校)	片山校長、長子教頭、増田事務長、高坂首席、井上首席
傍聴者	なし
協議資料	令和7年度学校経営計画の進捗状況、他2種
備考	

議題等(次第順)
1. 令和7年度学校経営計画の進捗状況について 2. 令和10年度以降の府立高等学校入試選抜における学校特色枠について 3. 協議

協議内容・承認事項等(意見の概要)
1. 令和7年度学校経営計画の進捗状況 ICT・発信：DXルームや3Dプリンタの活用を推進。生徒によるSNS発信も強化中。 組織改善：先進校視察を通じ、授業の質向上と教員の「働き方改革(余白作り)」を模索。 課題：遅刻数の増加、日常的な地域連携の不足、探究学習の質の向上が継続課題。
2. 令和10年度以降の入試特色枠 選抜方針：定員の最大50%に「特色枠」を設定。適性検査や文化・体育活動の面接を検討。 探究選抜の回避：中学生の敬遠や教員の負担を考慮し、探究活動による選抜は見送る方針。 魅力発信：入試制度の一本化に向け、他校との差別化と本校の魅力をどう示すかが焦点。
3. 協議(主な意見) ○生徒のモチベーションと学校の魅力作り 定員割れの影響により、第一志望ではない生徒やモチベーションの低い層が増加している懸念(「入れるから入る」層の存在)。「鳳でこれがしたい」と思わせる独自の魅力や、卒業生(和泉市長等)をロールモデルとした人生設計の指導が必要。 ○探究学習・プレゼン指導の質の向上 現状の探究が単なる「調べ学習」に留まっている指摘。1年生からの積み上げ(探究基礎)の重要性。プレゼン指導において、生成AIの活用法や、聴衆に伝えるための技術(ジェスチャー、配色、フォント等)を教員側が適切に指導・フィードバックできる体制づくり。 ○教職員組織の課題 教員間の連携不足や、単位制による加配が十分に活かされていない現状への厳しい指摘。「自称進学校」に甘んじることなく、進学実績に裏打ちされた教育の質をどう担保するか、教員の指導力向上が急務である。

日時	令和8年2月12日(木) 15:00～
会場	大阪府立鳳高等学校